

第137号

こんにちは

# みささ議会です

令和6(2024)年

4月号

## 主な内容

- 令和6年度予算の特徴 ..... 2～3
- 3月定例会・一般会計予算を可決 4～5
- 常任委員会で慎重審査 ..... 6
- 議員7人が一般質問 ..... 7～14
- 議案の賛否 ..... 15
- 大好きみささ町 ..... 16

夜桜を楽しむ家族  
(やなせ公園)

# 最高予算額に迫る過

## 令和6年度一般会計予算の特徴

令和6年度は、令和5年台風7号の災害復旧を最優先にし、第11次三朝町総合計画「後期基本計画」の掲げる施策を着実に実行するための予算編成が行われている。

### 主 な 事 業

#### ◇ 令和5年台風7号災害復旧事業 〈約4億円〉

被災した水路等農業用施設をはじめ道路等の復旧など生活、農業基盤を優先的に実施

#### ◇ 三朝小学校施設の整備 〈約8億3,000万円〉

本年秋の新校舎完成に向けた建設工事費と必要な備品・機材等の整備

#### ◇ 三朝球場等スポーツ施設の再整備 〈約1億2,000万円〉

球場のスコアボード新設とグラウンド等大規模改修費、陸上競技場等周辺の環境改善



災害復旧工事の様子



小学校建築現場



改修工事予定の三朝球場

### 「温泉を活用した健康まちづくり事業」

三朝温泉をはじめとするまちの資源を有効活用し、町民の健康増進を目指した取組を具体的に進めていくために「温泉を活用した健康まちづくり事業基本計画」を策定した。計画では、次の3本の柱を事業の方向性として掲げている。

#### ① 三朝温泉を知ってもらう

三朝温泉の効能等知識を得て、温泉への入浴等が健康や癒しにつながることを理解し、体験してもらう。  
(取組例) 三朝温泉活用報告会の開催、ミュージアム機能の整備 など

#### ② 温泉と健康づくりを連携させる

三朝温泉への入浴「浸かる、飲む、吸う」と健康づくりを連携させる仕組みづくり。  
(取組例) 健康アプリの活用、健康づくりコンシェルジュの配置 など

#### ③ 入浴等施設を整備する

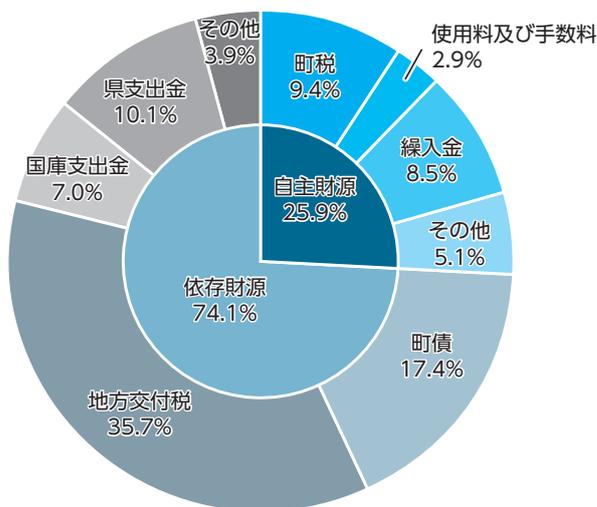
令和8年度末の完成を目指し、新しい日帰り入浴施設や町スポーツセンター内にトレーニングジムを整備する。

令和6年度は温泉における「人々の健康づくり」と観光とを両輪とし取り組み、町民の意見を取り入れつつ関係機関と連携をしながら、施設完成に向け整備地の決定等の準備を進めていく。

# 去2番目の予算規模

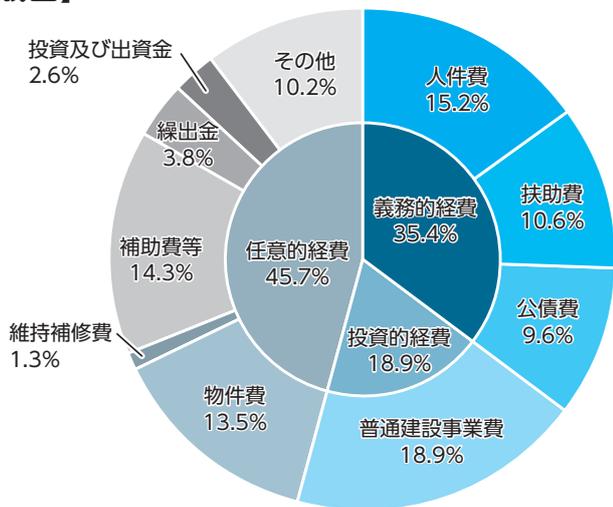
**当初予算 67億2,300万円** 当初予算は前年比2.3%増

## 【歳入】



区分	歳入内訳	(万円)
自主財源	町税	62,899
	使用料及び手数料	19,846
	繰入金	57,471
	その他	34,037
依存財源	町債	116,700
	地方交付税	240,000
	国庫支出金	47,257
	県支出金	68,050
	その他	26,040

## 【歳出】



区分	歳出内訳	(万円)
義務的経費	人件費	102,499
	扶助費	71,551
	公債費	64,795
投資的経費	普通建設事業費	126,861
任意的経費	物件費	90,872
	維持補修費	8,464
	補助費等	95,929
	繰出金	25,362
	投資及び出資金	17,545
その他	68,422	

## 令和6年度から後期基本計画がスタート！！

第11次三朝町総合計画「後期基本計画」では、前期基本計画期間が終了することを機に、前期の進捗状況や実績を検証するとともに、引き続き町の目指す将来像の実現や町民と行政が連携、協働して地域資源を活かした町の活力や魅力を高めていく施策展開を図り、令和10年度までの残り5年間で総合計画の目標達成を目指していく。

### 第11次三朝町総合計画

**目的** 町の明るい未来を開くため、町民と地域、行政が共に考え、汗をかき、暮らしやすい新しい町づくりを進めるため、町の目指すべき新しい将来像を掲げ、その実現に向けた基本的な方針と施策の内容を明らかにする。

**計画期間** 令和元年度～令和10年度までの10年間（前期基本計画5年間、後期基本計画5年間）

# 令和6年度 一般会計予算を可決

## 一般会計予算審査特別委員会報告

3月19日に一般会計予算審査特別委員会（遠藤勝太郎委員長ほか委員4名）を開催、令和6年度一般会計予算で各常任委員会において審査した内容のうち、特に気になる事業について細かく審査しました。その結果、すべてを原案どおり可決すべきと決定しました。

### ふるさと応援寄附金一般経費・特別経費 7,501万円

#### 意見

令和5年度と同額の1億5,000万円を目標額としているが、目標額達成に向けての検討は十分されているのか。

#### 回答

令和5年度は9月以降に中間事業者や自動販売機を導入し、一定の成果はあったが、目標額には届かなかった。先進自治体の取組からできるものは積極的に取り入れ、特に返礼品の充実に努めたい。



ふるさと納税自動販売機

### 危険木事前伐採推進事業 800万円

#### 意見

町道には倒木の危険がある場所が数多く見られる。事前伐採を2箇所に限らず増やす等、積極的に推進すべきでは。

#### 回答

事業費の半分は関係事業者が負担するため、町の一存では実施箇所を決められない。関係事業者と調査を行い、危険性の高い箇所から順番に進めていく。

### 水田農業サポート事業 791万円

#### 意見

グリーンサービスは、採算性のために牧草等の飼料作物への転換が増えている。飼料作物への転換は一定の歯止めが必要では。

#### 回答

安定した収入が見込める飼料作物を増やし、経営の健全化を図る。また、同一農地で稲作と畑作を交互に行い、農地の負担を減らすことで反収の維持・向上にもつなげたい。

### 学校給食費負担軽減事業、児童副食費（みささこども園） 78万円、138万円

#### 意見

他市町村で給食費無償化が進む中、今回の事業は補助額が少ない。学校給食費やこども園の副食費の無償化を検討すべきでは。

#### 回答

食材費である学校給食費や副食費は保護者に負担をお願いしたい。今回は物価高騰による値上額の2分の1補助に留めた。町単独での給食費無償化は財政的に困難である。国の動向を注視し、国の支援制度ができた際に改めて検討したい。

## 移住定住促進事業 1,241万円

### 意見

お試し住宅の利用を推進するために、利用者の負担軽減策として家賃設定額を引き下げること検討しては。

### 回答

町営住宅を活用するお試し住宅の取組は、県内で初の試みである。家賃設定額は公営住宅の地域対応活用制度の基準に従い、近傍の家賃を勘案して設定したものであり、引き下げは難しい。家賃補助も現時点では考えていない。



お試し住宅予定地（天神団地）

## 子育て・定住・婚活支援事業 181万円

### 意見

婚活事業はふるさと広域連合に委託しているが、本町の実績はあまりない。町単独でももっと積極的に町内者の成果が上がる取組をすべきでは。

### 回答

各市町単独では人を集めにくいので、イベント企画を広域連合に委託している。町内での個別相談会の回数を増やしつつ、町内事業所、消防団や民生委員にも参加を呼びかけ取組を進めたい。

## 観光協会経常経費補助金・ 観光協会通常事業費補助金 4,921万円

### 意見

観光協会は、三朝温泉の魅力向上と観光客誘致の重要な課題を担っている。ふるさと健康むら等施設の指定管理も受けている。人的な面を含めて事業推進体制の強化が必要では。

### 回答

事業推進体制の強化に向け、正規職員・非常勤職員各1名を増やすための予算を計上している。指定管理施設の維持管理等も必要に応じ、助言指導・相談を受けながら対応していく。

## 学校跡地利用検討委員会 16万円

### 意見

三朝小学校校舎・跡地は、旧南・旧東小学校のように利活用事業者を外部から募集するのか。竹田保育園も閉園するが、園舎・跡地利用はどう考えているのか。

### 回答

三朝小学校の校舎等は、「地域活動」「子育て支援」「学童保育」のための拠点としての利用に向けた構想の具現化に向け、委員会で検討を進めたい。竹田保育園は地域の方、町内事業所と一緒に、活用の方向性を検討したい。

## 三朝温泉誘客促進事業 1,338万円

### 意見

友好都市提携を結んでいる市町と相互の旅行者に割引クーポン券を発行するなどを行ってはどうか。住民レベルでの交流促進、観光客の増加につながるのでは。

### 回答

コロナ禍前には、城陽市観光協会と三朝温泉観光協会が、期間限定で特別優待を行った。クーポン券等の発行は、観光協会同士でそれぞれの状況に合わせた取組が進むよう町が関わりながら実現に向け、検討・協議を進めたい。

### 総務教育常任委員会

#### 空き家等撤去費助成事業

**問** 住民が危険な空き家の対処を相談した場合、町はどう対応するのか。

**答** 現場を確認し、確認写真を撮ったうえで所有者に是正通知を行う。

**問** 所有者が対応しないときは。

**答** 空き家等対策協議会で協議し、危険な場合は修繕等の対応を行い、所有者に費用を請求する。

#### 消防団 DX アプリケーション

**問** 消防団支援アプリとは。

**答** 団員がアプリを利用して出勤報告することで、団本部が出動管理や位置情報の把握、現場の状況の共有等ができる。

#### 災害対策

**問** 非常用トイレは何基購入するのか。

**答** 多目的用の女性も使用できるトイレを2基、男性が一度に4人入れるトイレを1基購入する予定。マンホールに直接つなげて流せるので水がなくても使用できる。



災害用トイレ

**問** 町内が断水した場合、給水車のタンクローリーはあるのか。

**答** 町の所有する給水車で断水箇所には水を運ぶことができる。

#### 新たに取り入れた健康診査

**問** 血管検診と骨粗しょう症検診を新規に予算化したのはなぜ。

**答** 血管検診は、温泉病院の専門医師から提案を受け、具体化に向けて動いたもの。併せて、骨粗しょう症検診も必要だと考え、推進することにした。

#### プラスチックごみ再生処理委託

**問** 三朝町でもプラスチックごみの分別収集を始めるのか。

**答** 中部全体でプラスチックごみの収集に取り組む予定。令和6年度は実証実験等を行い、町内数カ所を実施方法を検討する。

### 産業民生常任委員会

#### 町の介護保険利用者について

**問** 要介護が減り、要支援が増えてきている。これは介護認定が厳しくなったこともあると思うが、要介護までにならない元気な高齢者が増えたからか。

**答** 重度の方が亡くなられたこともあると思うが、施設入所者も減っている。要支援の増加は、元気な方が増えたということだと思う。

#### たまわりの湯の代替入浴の委託について

**問** たまわりの湯の代替施設にはレスポワール、湊泉閣、ブランナールがあるが、利用者はどのくらいか。

**答** レスポワールは、営業時間を1時間延長し、令和5年お

盆明けから2月末までで150人、湊泉閣は9月から11月まで改装工事のため閉館していたが116人の利用があった。ブランナールは、1,448人が利用している。

#### 観光の誘致促進事業について

**問** 移住定住、インバウンドに効果があると思うが、観光地を仮想空間の中で見て回るメタバースを取り入れてはどうか。

**答** 情報発信の手段として有効な施策かもしれない。状況を見据えながら良い方法を検討したい。

#### 農業機械導入支援事業について

**問** 農業機械導入支援事業の対象

となる小規模農家の基準は。

**答** 作付面積30a以上の個人農家が対象で、中古機械の購入も補助対象にしている。

#### あったかみささ米食育事業について

**問** 3歳以上児に、週1回炊き立ての三朝米を味わってもらふ事業だが、毎日提供できないのか。

**答** 園での負担については確認していないが、保護者のニーズや現場の状況を確認し検討する必要がある。



あったかみささ米食育事業

# 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

# あなたの声を 町政に

7人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
8	1 行政によるデジタル化を町民皆で享受できる町に	小椋 泰志
9	1 三朝町地域防災計画について	山口 博
10	1 本町における災害時の対応計画について 2 令和5年8月豪雨の復旧策について	松原 成利
11	1 町民と行政が一体となった防災対策を	森 貴美子
12	1 学校跡地施設の利用推進について 2 ねりんピックで町のPRを	河村 明浩
13	1 防災に女性の視点を 2 個別避難計画の進捗状況	吉村美穂子
14	1 農業の現状と今後の対応	遠藤勝太郎

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。  
(10:00～、18:00～)

D  
X

## 問 行政によるデジタル化の恩恵を全町民に

答 町民の利便性向上に向けて取り組んでいく

本町のDX（デジタルトランスフォーメーション）を今後どのように進めていくのか

### 小椋

デジタル技術を活用して行政サービスの改善や事務の効率化だけでなく、地域の課題解決や地域活性化が期待されているが、今後の町のDXをどのように推進していくのか。

### 町長

行政サービスの一環としてごみの分別アプリや窓口のキャッシュレス化、各種証明書のオンライン申請サービス、防災行政無線のスマホ通信などを行ってきた。今後も費用対効果と町民の利便性を考え有効なものから導入を図っていききたい。令和6年度計画策定の第3期地方創生総合戦略の中でも検討していきたい。



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」

防災行政無線放送アプリ「コスモキャスト」



デジタル温泉健康アプリを開発してはどうか

### 小椋

温泉を活用した健康まちづくり事業計画にもあるように、温泉の効能や健康への情報提供、医療機関と連携した健康管理をサポートするデジタル温泉健康アプリを開発し町民の健康増進に取り組んではどうか。

### 町長

自身の健康状態や運動等の履歴を確認できたりすることで、手軽に健康の維持や継続につながるような支援ツールを開発してはと考えている。

デジタルの情報格差を解消する取組が必要

### 小椋

スマホ等のデジタル機器を使える人と使えない人との情報格差が課題となっており、デジタル化の恩恵を受けられない人が出てきているが、情報格差の解消に向けてどのような対策を考えているか。

### 町長

ある地域協議会では、日本海ケーブルネットワーク、地元の中学生や高校生の協力を得て、高齢者を対象にLINE利用の学習会を開催し、成果があったと聞いている。こうしたことを社会教育の分野で実施するのが効果的だと思っており、教育委員会とも連携しながら進めていきたい。



小椋 泰志 議員

高齢者がデジタルを身近に感じる体制づくりを

### 小椋

地域の中から高齢者デジタルサポーターを募集育成し、スマホの使用方法などデジタル機器に慣れない高齢者に対して、丁寧に対応していくことが必要ではないか。

### 町長

スマホ等に慣れてもらうために、身近で役に立つ機能を勧めていくことが大切だと感じている。高齢者を含め集落が点在する本町に適したデジタル化の推進については、関係機関と連携しながら今後も取り組んでいきたい。



スマホに慣れることが大切

※DX（デジタルトランスフォーメーション）

デジタル技術やデータを活用して住民の利便性を向上させ社会を豊かに変革していくこと

防  
災

## 問 能登半島地震を受けて三朝町地域防災計画の見直しは

答 地域防災計画は災害発生の都度検証し直していく

町長は元旦に発生の能登半島地震の災害をどのように見たか

山口

元旦に発生した能登半島地震の災害状況等を町長はどのように見ているか。

町長

能登半島地震では、家屋倒壊、道路崩壊、液状化現象、津波、大規模火災、孤立集落、さらには上下水道の壊滅的破壊など、地震による全ての被害が浮かび上がった。現地では救援状況等において複合的要因で初動対応等の課題が指摘されている。

地域防災計画では9集落の孤立を想定しているが見直しが必要では

山口

能登半島地震では長期間にわたって救援の届かない孤立集落が多数発生した。三朝町地域防災計画では9集落の孤立を想定しているが、道路崩壊、土砂崩壊で9集落以外にも孤立が心配される箇所が多くあるので見直しが必要ではないか。

町長

県の計画とも整合させながら孤立予想集落を確認して、孤立防止対策等必要な措置を講じていくこととしている。

集落公民館に食料品等の備蓄品を配置しては

山口

備蓄品、特に食料品等の配置状況を見ると、各地域協議会の地区公民館にビスケット1缶、飲料水1ケースが配備されているが、複数集落が孤立した場合、圧倒的に数量が足りないと思う。能登半島地震のように道路崩壊で孤立集落が発生した場合、備蓄場所まで行くことすら不可能となるので、集落人口に応じた1週間程度の食料備蓄品を集落公民館に配置すべきである。

町長

町の備蓄品は県との連携備蓄体制によって決められた数量を配備している。集落公民館単位での配備は管理面の課題もあり、集落の防災対策の取組の中で検討していきたい。

公的補助制度で個人備蓄を推奨してはどうか

山口

孤立に対応するため、公的補助による個人備蓄を推奨してはどうか。



山口 博 議員

町長

個人備蓄については、基本的には自らを守る備蓄を進めるべきであると思うが、町民に対して、どのような物資等の備蓄が必要かなどの情報提供や啓発は必要と思う。

今般の提案に関する今後の取組は

山口

町の災害対応については心配な部分が多々あるので色々提案したが、見直すべきところはきちんと見直し対応すべきであると考えている。

町長

地域防災計画は、常に災害の都度検証し、見直していくべきものと思っている。町民の皆さんに対しての啓発は非常に大事なので努めていきたい。

## 各公民館等備蓄状況 在庫一覧表

基準日：令和5年3月

No.	品名	小鹿地区多目的 研修会施設 指定避難所	三徳地区多目的 研修会施設 指定避難所	三朝町 高勢公民館 指定避難所	三朝町 竹田公民館 指定避難所	みささ村 公民館 指定緊急避難場所
1	毛布 (20枚)	○	○	○	○	×
2	ビスケット (1缶)	○	○	○	○	○
3	飲料水 (1ケース)	○	○	○	○	○
4	段ボールベッド (5セット)	○	○	○	南小に保管	×
5	ワンタッチテント (5セット)	○	○	○	南小に保管	×
6	ブルーシート (30枚)	○	○	○	×	○
7	段ボール間仕切り (5セット)	○	○	○	×	×

## 問 本町における災害時の対応計画について

答 道路整備は広域的な取組で進めている

### 避難所や避難用品は適正量か

松原

能登半島地震を踏まえ、発災後は避難所やすぐに必要な用品等の適正量の見直しと確保・保管計画の再検討を。

町長

指定避難所は使用可能施設と配置人員数から増やすことは困難。また、避難用品準備も限りがあり、集落での対応もお願いしたい。

松原

水や非常食の備蓄は各家庭にお願いすべきと思うが斡旋や周知が必要。

町長

既にチラシでお願いしている。簡易トイレなど準備が難しいもの以外は共同購入や斡旋も方法かとは思う。

### 県境を越える道路整備を

松原

本町の地理的条件は能登半島地震と共通面もあり、発災後は県境を越える支援受入れが予想されるが道路状況は貧弱で、国と県への整備要望が必要では。

町長

国道179号線は院庄まで改良済み、482号線も湯原インターまで一部を残し改良済みとの認識だが、県が整備中の北条湯原道路は関金に向け、完成までまだ時間がかかる見込みで中部圏域一体の要望活動をしている。

### 県境を越える道路整備を

松原

倉吉、三朝、東郷を結ぶ高規格道路の建設構想があり、令和5年



松原 成利 議員

2月に鳥取県中部環状道路整備促進議員連盟が設立された。中部の発展、災害時の移動には大事な道路として推進すべき。

町長

1市4町の首長、議長、議会等で共通認識を持っており、今後、期成同盟会等の設立や体制整備をしながら要望活動を促進したい。中部圏域の中で県を巻き込み経済効果のデータ作りや政治的要望の2面から取り組みたい。



取水口の被害を調査する農家

文は既に終わっている。水がいかない農地への知らせが遅れると、注文済みの苗や資材は行き場を失い無駄になるので、素早い対応が必要ではないか。

町長

水利が復旧しない箇所は取りまとめ中だが、JAには3月末まで注文期限を延長してもらっており、今後の状況は伝えていきたい。

## 問 令和5年8月豪雨の復旧策について

答 農繁期前4月中旬をめどに適切に対応

### 作付できない水田は発生しないか

松原

令和5年8月の台風7号で、再び農業用水路等に重大な被害が発生し、水田等は例年通り作付できるか心配する声があるが、従来の手順に拘らず、仮設等の仮復旧策を講じてでも、より多く救う方策を検討すべき。

町長

46か所が国の災害査定を受けており、急を要する取水通水できない9か所は仮設パイプ等の設置計画で3月中旬頃に発注する。残る農業用施設は農繁期が終わり次第9月頃の発注になる。

### 苗や資材が無駄にならない方策を

松原

来年度の苗や資材のJAへの注

防  
災問 町民と行政が一体となった  
防災対策を

答 防災意識の醸成に努めていきたい

## 耐震化されていない木造住宅の把握を

森

能登半島地震では、石川県が氏名を公表した亡くなられた方の約9割が家屋倒壊によるものだった。町内の耐震化されていない古い木造住宅の把握が必要では。

町長

令和2年度の調査で、耐震化されていない住宅は約1,200棟、39%だった。町では、耐震改修促進計画を策定しており、令和8年度末の耐震化目標を78%と定め、耐震診断・改修を計画的に促進することとしている。

総務課参事

能登半島地震を契機に、住宅耐震への関心が高まっている。建築物耐震診断改修補助金の枠を増額し、町民の相談に対応できるようにしている。

## 防災対策の意識づけは重要な町の責務

森

行政と町民が一丸となって防災対策を行い、防災意識を高めていく時期を迎えている。各家庭の備蓄品等の行政の手が届き難いものには、町民の積極的な取組が必要。町民の意識付けは町の重要な責務だと思うが。

町長

各家庭での食料備蓄品や防災グッズの用意は、防災学習会などを通じ、様々な周知・啓発を行っていく。

町民一人ひとりが災害を「他人事」ではなく「自分事」として捉え、「自らの命は自らが守る」「地域住民で助け合う」という防災意識の醸成に努めたい。



ローリングストックで家庭に合った備蓄を

## 小学校跡地を備蓄品の保管場所に

森

三朝小学校の新校舎移転後、旧校舎を備蓄品の保管場所に充てては。

町長

小学校の旧校舎は、防災対策面でも活用できると考えている。

## 感電(耐震)ブレーカーについて

森

みささ村防災学習会で、感電(耐震)ブレーカーは、震度5以上の地震発生時には自動的にブレーカーが落ち、電気が復旧した後に起きやすい通電火災が防止できると知った。このような情報を町民に知ってもらうことが大切だと思うが。



森 貴美子 議員

町長

能登半島地震では、これまでなかった火災発生の原因などが今後検証されていく。日常生活の中の延長コードやいろいろな配線、そんなことも火災予防の教訓となったのではないかと。

## 岩手県洋野町の取組をモデルケースに

森

洋野町は、東日本大震災で、岸地域で唯一、死者・行方不明者がゼロの町だった。「3.11洋野町の奇跡」と呼ばれ、防災のモデルケースとして注目された。洋野町の取組を参考として、町民の防災意識を高めてはどうか。

町長

防災意識は、そのときそのときに感じて行動に移すものと思っている。この能登半島地震を契機に、皆さんと一緒に考えていただき、実行に移していただき、そういった町民の防災意識の醸成に努力していきたい。



備えておきたい防災グッズ

## 問 旧南小学校と旧東小学校の利用は

答 民間企業への跡地施設一括売却を基本の方針に進めたい

### 廃校から今までの状況は

河村

両校舎が廃校となり5年経過した。このままでは、建物の劣化が進み、再利用することなく取り壊される。廃校からこれまでの問い合わせ等の対応状況は。

町長

電話や現地確認など様々な問い合わせがあった。活用の提案も多種多様に渡ったが、次の進展にはつながっていない。



旧南小学校

### 今後のスケジュール

河村

具体的な募集要項を示して募集を開始しては。

町長

令和6年度はサウンディング型市場調査と公募における条件の整理をし、不動産鑑定評価も行うこととしている。

市場調査で民間企業から広く意見や提案を求めることにより、今後の活用のアイデアを得て、施設の可能性を把握していきたい。



旧東小学校



河村 明浩 議員

### 企業誘致に対する支援策は

河村

建物の劣化が進んでいるので、活用には改修等が必要になる。その支援策をどう考えているか。

町長

創業支援の補助金制度は拡充している。企業投資への支援金の考えもあるが、具体的には今後中身を詰めていく必要がある。

### 企業の選定方法は

河村

どのように企業を決定するか。

町長

公募にあたり、提案をどう評価するか、地域に受け入れられるかなどを考えながら、町の活性化につながる誘致を進めたい。



エンジョイペタンク

## 問 ねんりんピックで来県者に町のPRを

答 関係者とともに盛り上げたい

### ねんりんピックで町のPRを

河村

ねんりんピックで来県された方が再び三朝町に来てもらえるよう積極的なPRをしては。

また、町民すべての世代が楽しめるよう町全体として盛り上げる方策は考えているのか。

町長

実行委員会の構成団体が一つになり、おもてなしやPRに取り組む予定。

福祉課長

町民にペタンクを親しんでもらうため、昨年は体育協会主催によるエンジョイペタンク（ペタンク大会）なども開催している。

今後も町の取組を町報やホームページ等で情報を発信し、積極的な大会PRに努めたい。

観光交流課長

ねんりんピックの競技会場では地元食材などを利用したなめこ汁等の提供とともに、観光協会、商工会等と連携して三朝のお土産販

売や足湯を準備し、三朝温泉のPRを行いたい。希望者には、三徳山での境内ガイドツアーなどのオプションツアーも行う予定。

防  
災

## 問 女性の視点からの避難計画は

答 県の運営マニュアルの作成方針と地域防災計画に基づき定めている

男女共同参画の視点からの  
ガイドライン作成

吉村

女性と男性のニーズなどの違いに配慮した取組や、安心安全の確保のために、女性の視点から具体的な防災対策づくりが必要だと思われるが、本町の取組は。

町長

男女共同参画の視点からの取組が十分に浸透しているとは言いがたいが、様々な避難者の意見が反映できるよう、避難所運営マニュアルの改正を行う必要があると思う。

吉村

危機管理部局に女性職員の配置が必要ではないか。

町長

配置はしていないが、災害時の対策本部では各課各部局が関わっていく。避難所運営を行う民生対策部では女性職員も多く対応している。

吉村

地域防災計画に具体的な女性の位置付けがなされているのか。



吉村美穂子 議員

総務課参事

明確な位置付けはされていないので今後検討していく。

防  
災

## 問 個別避難計画作成の進捗状況は

答 進めているが課題もある

## 現在の取組と課題

吉村

個別避難計画の作成はどのように取り組んでいるのか。

町長

民生児童委員の研修会で周知を行ったり、保健師が自宅訪問の際、説明を行ったりと取り組んでいる。

吉村

個別避難計画の作成における課題は何か。

町長

災害時避難行動の要支援者と避難支援者とのマッチングが個別避難計画の作成につながっていくが、その取組が思うように進んでいないのが現状である。

吉村

課題を踏まえ今後の取組をどのように考えているのか。

町長

集落の取組を支援することが重要と考え、引き続き支え愛マップ作成と、防災学習会の開催に努めていきたい。

## 避難計画のデジタル化

吉村

今年度から国の被災者情報管理システムが全国で初めて県内全市町村に導入される。これにより、個別避難計画も一気に進むと期待しているがどのように考えているのか。



三朝町地域防災計画

町長

県内市町村が内閣府クラウド型被災者支援システムを共同調達することになっている。これにより、災害時の被災者支援や、罹災証明の発行などが円滑に行えるようになると思う。県と町との連携で状況をよく把握し迅速に対応していきたい。

## 問 農業を守るためには

答 農業を継続してもらえる方策を考える

### 今後の農業振興について

遠藤

本町の農業は米が主体で、昨年の実績は、作付面積248haのうち、コシヒカリ123haと半分を占めている。

2等米が80%と多く、反収345kg(5.7俵)で、収支は6,424円の赤字である。米だけで経営が成り立たない現状を見て、今後どのように振興されるのか。

町長

農業の振興については、JAや県と連携して三朝米と三朝神倉大豆のブランド化や生産振興、販路拡大に取り組んできた。

大豆面積の拡大、耕畜連携、水稲、大豆など団地化や輪作体系を進めていきたい。



三朝神倉大豆を使った特産品

### 収量を増やすために

遠藤

地力増進対策(堆肥投入助成)を長年続けておられるが、収量増につながっていないが。

町長

土壌診断をしながら堆肥投入したい。堆肥だけで成果が上がるも

のではなく、1つの方法。農家が継続して水田活用していただける方策を考える必要がある。

### ブロッコリーの生産を増やすには

遠藤

収益性の高いブロッコリーの取組は。

町長

農家単位では作付規模の拡大は成果が上がっていない。

栽培研修や取組の参考事例を発信し、普及拡大に努めたい。

### 兼業農家への支援について

遠藤

本町は大半が兼業農家である。農地を維持するためにもっと助成が必要ではないか。

町長

中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度など国の交付金を活用して農地を守っている。

### 農家・農地を守っていくために

遠藤

農業従事者は60～70代で、先祖伝来の土地を守るために米を作っている。機械等が壊れたら、農地委託の方向になると思われるが、担い手協議会等の現状では、受け入れできない状況だと思うが。

町長

集落営農を進めてきたが、対応



遠藤勝太郎 議員

.....  
できるところは少ない。一般農家に対して、今年から補助率4分の1で機械購入助成をする。

### 就農者を増やす取組は

遠藤

以前の質問で水田に果樹(梨)をおろすと言われたが進展がない。

県が奨励しているジョイント栽培等に新規就農を募ってでもする考えはないか。

町長

水稲、果樹、畜産にしても色々な立地条件の中でやっていけるかどうかすぐには結論は出せないが、方向性に向かって努力する。

新規就農については、行政と生産組織等が一体となり支援する体制が必要。

### 水害の被害を抑えるために

遠藤

昨年の台風7号による水路への土砂流入があったが、大型取水口に段階的に水門の設置はできないか。

町長

河川法の規定による工作物設置基準が定められている。設置ができない場所になる。

**【議案に対する賛否】**

議案番号	議案名	議員名（議席順）											結果	
		森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	松原成利	松原茂隆	能見貞明	石田恭二	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎		吉田道明
<b>(1月臨時会)</b>														
<b>町長提出議案名</b>														
1	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
2	三朝町手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
<b>(3月定例会)</b>														
<b>町長提出議案名</b>														
3	令和6年度三朝町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
4~10	令和6年度三朝町特別会計・事業会計予算（7件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
11	三朝町町長等の給与及び旅費に関する条例及び三朝町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
12	三朝町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
13	三朝町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
14	三朝町基金条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
15	三朝町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
16	三朝町情報公開審査会設置条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
17	情報公開条例及び議会個人情報保護条例に基づく合議制の機関に係る事務の委託に関する規約を定める協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
18	三朝町立福祉センターの指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
19	令和5年度三朝町一般会計補正予算（第11号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
20~24	令和5年度三朝町特別会計・事業会計補正予算（5件）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
25	工事請負契約の締結について（加茂川河川災害復旧工事（5年災451号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
26	工事請負契約の締結について（町道実光神倉線道路災害復旧工事（5年災462号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
27	工事請負契約の締結について（町道柿谷鉛山線道路災害復旧工事（5年災469号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
28	三朝町行政組織条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
<b>議員提出議案名</b>														
議1	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
議2	パーティー券収入不記載問題について国民への説明責任を果たすこと、金権腐敗政治を防ぐ厳格な法整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
議3	三朝町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決
議4	三朝町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。  
 ※吉田道明議長を除く11名の賛否状況です。

**【陳情】 3月定例会の陳情に対する審査結果です。**

件名	提出者	審査結果	審査意見
危険ドラッグの対策に係る意見書の提出について（陳情）	足羽 佑太	趣旨採択	危険薬物の製造・販売の対策強化は必要。既に国や県で法的整備等は検討されているため、今後の進展を見守る状況と考える。
年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	小坪 慎也	採択 意見書提出	現在の制度では将来的に国や自治体、国民への負担増加が懸念される。国の対応実現に向け、地方からも後押しすべき。
食糧自給率向上を政府の法的義務とすることを求める陳情書	鳥取県農民運動連合会	趣旨採択	日本の食料自給率は低いので、国は食料自給率向上、農業支援に力を入れるべき。基本計画の国会承認制や自給率向上の法的義務化は検討が必要。
「ガザのジェノサイド状態」を止めるために 陳情	三朝革新懇	趣旨採択	日本は国連で平和的解決や停戦に向けた活動はしている。国際的、外交的問題に地方議会が意見をあげる必要はない。
岸田文雄政権が「パーティー券の購入も含めた裏金作りの方法とその使途を明らかにすること」、「パーティー券の購入も含めた企業・団体献金を今度こそ禁止すべき法律を作ること」を求める「意見書」の提出を求める陳情	三朝革新懇	採択 意見書提出	国会議員の政治資金、裏金問題は国民への説明責任がある。また、パーティー券のような政治資金の抜け道のない厳格な法整備は必要。

## 「僕のめざす生徒会活動」

今日まで僕たち中学生は、たくさんの方々に関わってもらったり、たくさんの方々につながったりしながら自分を成長させ生活してきています。僕たちのそばには、何でも話せる友人たち、家族以外に親身になって自分たちのことを考えてくれる先生方、あたたかい地域の方たちがいます。僕は、これらの方々とのつながりが、どれだけ自分たちの生活に大切なことか、特に中学生になってから痛感しています。そのような気持ちから、僕は、三朝中でも生徒会執行部が中心となり、学校全体にたくさんのつながりをつくりたい、つながりを強くしていきたい、そのような想いがあります。

その理想に近づくために、僕は生徒会長として、以前より実行しているあいさつ運動、行事の運営など三朝中の伝統を大切に継承していきたいです。そして、生徒どうしの横のつながりだけでなく、他学年との縦のつながりを強くする事を考えています。そのために積極的にあいさつ運動に取り組むだけでなく、学年を超えて生徒が

お互いに「話しあう」ことを始めたいと考えています。

僕には兄が二人いますが、二人とも口をそろえ「小学校・中学校で一緒に過ごした仲間は特別だ」とよく言います。兄たちは今でも、時々、三朝と一緒に過ごした友達と集まり、よい関係性はずっと続いています。僕はその姿を見て、自分たちが今過ごしている時間は本当にかげがえのない時間だと思っています。

生徒会長として、僕にしかできないこと、それは今ここでともに時間を共有している人たちとのつながりを増やし強くしていくよう働きかけること、そして、同じ目標に向かって前進していける仲間と毎日過ごしていくことです。そんな三朝中にしていくのが僕のめざす生徒会活動です。



三朝中学校3年  
山口 祐生

## 議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは議会事務局（電話43-3511）にお問い合わせください。

## 6月定例会の日程予定（案）

会期 6月11日～6月19日  
（9日間）

※日程は変更になる場合があります。  
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

## ～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- ・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <http://www.town.misasa.tottori.jp>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者  
議長 吉田 道明  
編集  
議会広報常任委員会  
委員長 小椋 泰志  
副委員長 河村 明浩  
委員 森 貴美子  
委員 吉村美穂子  
委員 藤井 克孝

日により寒さを感じますが、裏山では鶯が鳴き、木々の芽もふくらみ少しずつ春の訪れを感じているところ。先日、春一番が発表されました。春一番の発表基準は地方により多少異なりますが、前年に比べ4日～14日程度早いようです。春といいますが、入学、卒業、進学、就職、農業など、何かと忙しくなるかと思いますが、強風、乾燥、雪崩による災害が発生しやすくなります。特に、強風・乾燥により火災のリスクが高まり、大火災の発生する恐れがあります。一人一人が気をつけて火災予防に努めましょう。

（藤井 克孝 記）

